

議会広報特別委員会

日 時	令和 4年 6月27日 (月) 閉会中	9時39分 開会 10時20分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 2番 原口康之	(副委員長) 8番 種茂和男
	5番 加藤 彰	4番 名波和昌
	3番 絹村智昭	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 森田さおり	書記 本杉周平
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、定刻になりましたので、議会広報特別委員会を始めたいと思います。

2 事件 (1) 牧之原議会だより「かけはし」第67号について

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、事件に入っていきたいと思います。

牧之原市議会だより「かけはし」第67号について、アのページ構成の決定について、事務局のほうからよろしくをお願いします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

よろしく願いいたします。

資料は横判のものになります。ページ割第67号というものをまずご覧いただければというふうに思います。

前回の委員会でも少しご協議いただいておりますけれども、今回の委員会で一応のページ更正の決定のほうをいただきたいというふうに思っております。

変更したところですが、簡単にご説明させていただきます。

まず、特集記事の関係になりますけれども、それ以外の黒字のところは、特段、前回お示したのから変更はしてございません。

まず、5ページに特別委員会の設置というところがございますけれども、前回の委員会の中で1ページにしたかどうかというご意見もありましたので、これはまた記事をつくっていく中で少し調整をしたいというふうに思っています。

後半、14ページから裏紙の半分までのページになりますけれども、こちらについてがいわゆる特集記事ということで、前回も皆さんの中でご協議いただきたいということでお願いをさせていただいたところになります。一応、この14ページから17ページ、そして裏紙のところ、ここに入れてさせていただいてあるものは、前回の委員会でもお示しをさせていただいていたものになりますので、それ以外に何か18、19ページ、2ページ分、またこの赤字のところを少しこういった記事に変えたほうがいいんじゃないかというものがございましたら、ご協議いただければというふうに思っています。

それと、赤字ではありませんが、3ページ、4ページのところに補正予算連合審査ということで、補正予算連合審査の記事の掲載をするページを組ませていただいております。事前をお願いをしてございましたけれども、一応2ページ、組んでおりますので、おおむね9か10、案件が載

るかなというふうに思っておりますので、その辺もこの後、協議いただければというふうに思います。

もし、特別委員会の設置についての記事を1ページにするということであれば、この3ページ、4ページの補正予算連合審査の記事を少し削って1ページ分確保しようかなというふうに思っているところであります。

以上です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

では、今の補正予算の件ですけど、皆さんのご意見がありましたらお願いします。

石山委員。

○（石山和生君）

18、19は埋めるという方向ではあるんですよ。この議論はそもそも。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

18、19は、今のところは。

○（石山和生君）

何かしら入れるというようなことですよ。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

そうです。その件について、前回、皆さんに何かありましたらということで、あれば考えてきていただきたいなと思っていましたので、今、空きになっている部分に関しては、そんな感じですよ。

ほかは。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ほかはないようでしたら、2ページに現状、増やしているということだよ。

3ページ、4ページ、補正予算は。2ページに増やして、大体こんな感じでよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、掲載内容がここに書かれていますので、このとおりに進めていきたいと思っております。

それで、今、空欄になっている部分に関してですが、皆さんのほうで何かありましたら、ご意見のほうをお願いします。

名波委員。

○（名波和昌君）

過去の慣例がよく分からないんですけど、例えば、議員の皆さんが傍聴する、この前の住田さんの講演会であるとか、あるいは先日の第3次総合計画の意見交換会、あれも傍聴だけになっているんですけども、そういうところを傍聴したとか、講演会に全員が全員出席しているわけじゃないんですけど、そういうところ、議員もこういうものに出ているよという、そういうアピール

は今までしたのかどうかというか、しないほうがいいのか、過去の慣例はどうだったのかなと思
いまして、そういったことも載せてもいいのかなという気がしました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その部分に関して、今までずっと主催が、行政のほうの主催の意見交換会とか、その部分に関
しては広報としては載せたことはないと思いますけど、その辺ちょっと、事務局のほう何かあり
ましたら、補足のほうをお願いします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

私になってからは特にそういう、当局が主催のイベントの記事を載せたことはないです。

過去のものを見ると、かなり昔ですけれども、平成29年のときとかは、例えば、津波避難タワ
ーの工事が始まったよとか、海王丸ですか、御前崎港に来たよとか、そういう記事は載せている
ところもあります。

なので、例えば、議会と少し関連性があるようなイベント、前回もお話がありましたが、例え
ば、学校再編のシンポジウムなんかというのは、こちらから要望書を出している経緯もあります
ので、何となく載せやすいかなとは思いますが、なかなか住田先生のほうになると、少し載せ
るに何となく理由といいますか、ちょっと難しかったりするのかなとは、あくまでも私個人の意
見ですけど。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

名波委員のは、とてもいいと思っていて、というのも市民からしたときに、議員って何してん
ねんという、仕事しているのかみたいなという疑念というのが結構あると思っていて、そういっ
た意味でいうと、先ほど言ったように中身を出したら微妙かもしれないですけども、活動報告
的に、こういった傍聴に行った一覧とか、議長が行っている活動もありますよね。あれは議会と
して議長が出ているという認識だと思うんですけど、これだけ仕事をしているよというふうな意
味で、中身は別に出さなくても、こういうところに何日に行って出席しましたみたいなページが
あってもいいのかなと僕は思いました。

名波委員、そういうことではないですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

名波委員。

○（名波和昌君）

基本的にそういうことです。やはり何しているか分からないというか、何しているか分からな
いというところちょっと語弊があるんですが、本会議以外にいろいろ活動はしているとは思って見
えないという意見も結構あったりするものですから、議員はこういうことをやっているよ、議長、
副議長はこういったことをやっているよ、各委員会ではこういうことをやっているよというよう

な、できるだけ議員がどういう活動をしているかということアピールしていくのも、このかけはしの役目じゃないかなと思いますので、そういった意味を含めて提案させていただきました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

少し、前回提案させてもらった部分の一部事務組合の記事ということで、その部分もちょっと被ってくるのかなと考えますので、その辺の皆さんほかの方の委員の方のご意見を伺いたいと思いますが。

絹村委員、どうでしょうか。

○（絹村智昭君）

今、提案された感じは本当にすごくいい案だなと思いますので、ぜひ前向きに取り組んでいったらどうかなと感じました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

加藤委員。

○（加藤 彰君）

ちょっと微妙かなという気はしていますのは、仮に載せていく場合には、ある程度、続けて載せていくということになるのかなという気がするんですね。その辺で、どの範囲までを、一応区切って載せていくのかなということが、今、狙いが議会活動というか、委員の活動というか、そういったものの理解を求めるといような狙いでやるということはいいと思いますけど、ただ、たまたま空いていたから載せるというのですと、ちょっと後のことも考えておいたほうがいいかなというのを思いました。ですので、空いていたら載せるというのだと心配というか、後のことが心配だなという気がいたしました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

副委員長は、何かあったら。

○（種茂和男君）

私のところは、忙しいだろうから、何をやっているかというのは、質問自体を受けたことがないし、また、それなりに議員として自覚して行動しているという自負もありますし、特に何をどうだ、こういうのをやっている、ああいうのをやっていると宣伝までのことはないのかなと個人的に思います。

皆さんがそういった活動云々というのがあるなら、載せるのは、載せようがないのかなというのが思うところもありますし、あえて空いているときは、空いていても、それはそのときの流れでいいのかなとは思いますが。

以上です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

そもそも聞きたいんですけど、今、一時的に入れるというのは反対だということだと理解したんですけど、それは僕もそうだなと思っているんですけど、この2ページを今回はなくした場合というのは、予算が減るだけと前回言っていたと思うんですけども、逆に増やしたい場合って、今回2ページ減っているから、次回は項目が多くて増やしたいという場合は、その分、そっちを、例えばここマイナス2ページしているんだから、予算が余っているんだから、プラス2ページみたいなことはできるんですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

結論からいえば、できなくはないとは思いますが、そういう形で今、多分、議会だよりの編集方針をつくっていないところがあるので、20ページでという話になっているので、もしそうするのであれば、この中で検討してもらえばいいかなとは思いますが、単純に2ページ減らして2ページ増やすのであれば予算的には問題ないかなとは思いますがけれども、例えば、今後は2ページ、次は4ページ増やしたいという可能性も出てくると思うので、その辺のことも含めて、今後の方針として考えてもらったほうがいいのかなとは思いますがけれども。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

何か無理に増やすという必要がないのかなというところからの話だったので。先ほどのものももし重要だというふうに話合いでなるんだったら、逆に定期に入れていっても僕はいくらの項目かなとは思っているので、今、時間ないと思うんですけど、またそういう議論があればいいなと思います。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

副委員長。

○（種茂和男君）

業界の立場から言うと、帳合的に20ページとすると、A全1台とA3、1台で20ページになって。理想的には16ページになるのか、今のまま20ページのほうが印刷効率と、そういった見積りで恐らく市のほうにも出していると思うんですけど、そこら辺が減ったり、16と20、20というのがA3で1台で、2掛ける8、16で表紙の部分の4ページ、20で恐らく計算して、コスト的な解釈では一番安い理想タイプになっているんだろうと、そんなところです。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

皆さんの意見をまとめるような形ですと、継続的に議員活動の表的な部分を載せるというのは、今の段階のあれだとちょっと難しいかなと私も考えますが、特集記事の一発というか、今回だけのあれとして、前回言ったみたいに、ちょっと遅れてはいるんですが、市民意識調査が前回出

て、浜岡原発の視察なんかも行っているものですから、その部分の記事とか、先ほど事務局のほうから出た学校再編のシンポジウムの関係とか、あと前回から言っているように一部事務組合の記事ですとか、この辺を中心に2ページ。前回も、これも出ていると思うんですが、議会改革特別委員会の内容とかというのを少し、その会に合わせて載せていくというような考えでどうでしょうか。

何か意見がありましたら、お願いします。

石山委員。

○（石山和生君）

今言っているのは、5ページと14、15、16、17の話ですか。それとも18、19をさらにその内容で増やすという意味ですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

18、19の追加というか。

○（石山和生君）

今、例えば、14、15で2ページ分しかないのを、例えば4ページ分に増やすとか、そういう意味ですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

そうですね。

○（石山和生君）

確認しました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

加藤委員。

○（加藤 彰君）

ちょっと聞いて申し訳ないですけども、この提言書のその後というのは、どういったことを書くんですか。ごめんなさい。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

私のほうからは、過去に提言書を何件か出していると思うんですけど、その後の行政の対応、どんな対応をしたのかという部分を含めて、少しまとめて、総務と文教と何件かずつ書いているような形になります。

○（加藤 彰君）

例えば、いつでしたか、説明があったというのは。4月でしたか。行政から説明があつて。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

最初。

○（加藤 彰君）

そのことでいいですよ。そうすると、何かそこら辺は充実してもいいのかなという気は。結構前向きに取り組んでくれているようなものもあるし、課題的に、たまたまそのとき聞いた発

言が、例えばそこだけ言うと、もう少しこう考えたらみたいなことで投げかけてあるようなことがありましたけれども、何かそこら辺を充実するというのは難しいんでしょうか。例えば1ページとか。そこら辺は何か住民の皆さんも関心があるのかなという気は、ちょっとしたんですけれども。ちょっとそれは思いました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

今の意見に対して、私のほうから。

提言書の内容というのは、すごく私も重要だと考えていて、今回、提言のあれが17ページ、1ページということを考えると、ほかにも載せられる、半ページずつか、そのくらいになると思うんですけれども、その辺を考えると、その辺の充実という部分も十分取り入れていければいいのかなと考えます。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

一応、今までの流れですと、先ほど委員長が言いましたが、それぞれの常任委員会で1個ずつ抽出をして、こういう提言を出して、こういうことになりましたと。写真も何か入れたりして、半ページずつで総務文教みたいな感じで1個ずつやっているの、それをもっと充実ということであれば、例えば見開きにして、総務と文教で、ちょっと分かりませんが、2件ずつとかということは、それは可能かなというふうには思います。

なので、提言書も内容も、市民の皆様こういう形で報告したほうがいいものもあれば、報告してもちょっと分かりづらいものもあると思うので、この辺はまたもしあれでしたら、この委員会の中で、どこを抽出するというのをまたお選びいただければなとは思いますが、基本は加藤委員が言われたように、あれは2月ですか、皆さんが議員になられてから2月の常任委員会協議会で報告された提言書のその後、こういう対応をしていますよというところからちょっと抜き出そうかなというふうには思っていますけど。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

すみません、さっきの話に戻ってしまうんですけど、2ページやらなかった場合、前回、9月のものは大幅にページ数が少なくなっているから、ちゃんと予算減になったけど、さっきのコストパフォーマンス的な話だと、2ページとか減らすだけだったら、むしろ予算が高まっちゃうとか、そんなにそもそも下がらないとか、そういったことがあり得るのかなと思ったんですけど、そうじゃないとしたら、別に予算を減らせばいいだけだと僕は思うという話なんですけど、そこが確定しないので分からないんですけど、そこは分からないということですよ。2ページ減ったら予算が減るといのが、これが前提としてあるのかどうか分からないです。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

特にすみません、18ページで見積りをもらっていないものですから、今後例えば、2ページ減らしたという段階で、種茂副委員長が言われたとおり、減るとは思いますけど、もしかしたら逆に手間がかかって増えるとかという可能性もなくはないかなというふうには思います。という回答でよろしいですか。

○（石山和生君）

今回はいいんですけど、もしまたこういうことがあったとき用に何か調べておいてもらえるとうれしいです。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

では、ここの空きページの内容について、少しまとめていきたいと思いますが、今出た案だと、前回言った特集ページが何件かあったと思うんですけど、原発の視察、学校再編と一部事務組合の議事などを載せるというところと、今、加藤委員のほうから出た提言書のその後を充実させるという部分で、提言書の内容、見開きだと、18、19が見開きになるだけというと、そこへ提言書を入れて、あと少し充実した内容、文教と総務を1ページずつ使って差し込むような形で、それで17ページ、これを特集記事、1ページ使って、先ほど言ったところら辺の特集記事を載せるという形でどうでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

よろしいですか。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

すみません、先ほど言ったというと、どういう記事を。一部事務組合の記事とかということですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺、ちょっと遅れてしまっているんですけど、実際に行ったのはかなり前になるんですけど、市民地区意識調査の結果でかなり変化が出ているという部分でいうと旬なのかなと思いますので、浜岡原発の視察とか、あと学校再編のシンポジウム、一部事務組合の記事と、この辺。事務局、どうでしょうか。

どうぞ。

○（加藤 彰君）

市民会議のほうなんですけど、まだ正直、現場を経験していないのでよく分からないところがあるんですけど、この市民会議を16、17とかというのはあれなんですか。市民会議のところの場合だと、載せることがあれですか、まだ全体に中身がないということですか。総務のほうはやっているし、どうなのか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

総務のほうは、多分2回やられていますかね。文教は多分今日1回やるので、その辺はやった内容とか、参加者からどう意見が出たよとかということを書いたらどうかなというふうには思っていますけど。

3回やられているので、もしそんな、長く1回について書くということであれば、1ページでは入り切れないところもあるかなと思うので、逆に1ページ半であったりとか、2ページと増やすこともいいかなとは思いますが、ここについては、できれば事務局でつくるというよりも、お出になられた議員さんたちで、ちょうど文教と総務のほうから皆さん選出されているので、記事をまとめていただいたほうがいいかなとは思っているのですが、皆さんのボリューム感といいますか、ということで増やすとか減らすというのは変わってくるかなとは思っていますけど。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺の、市民会議のところら辺を増やすというか、充実させていくというところでいくと、記事を書くときに、委員長か、この広報の中でつくっていくという形が。

○（加藤 彰君）

この間、要領というのか要綱というのか、先方に出した文書がありましたよね。文教でいえば。ああいうのって、当然、総務建設にもあるんですよね。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

当然。

○（加藤 彰君）

結局、ああいうのはすごく皆さんに知っておいてもらう必要があるのかなという気がしています。あれでもいいと思うんですけど、ああいう内容で。ああいうのは当然あって、当然出た意見が入れるみたいなイメージをちょっと考えたんです。考えたというか、そういうのありかなという気がするんですけども。

ですから、全く何か意見だけというよりも、そもそもやっているこの市民会議の狙いとか、そういうのは理解してもらってもいいだろうし。それで、今回はこういうテーマでこうやっていくよ、こういうふうな対象だよみたいな、そういうのはお知らせでもいいのかなという気はしました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

すみません、言葉足らずで。ちょっと前のやつを見ましたら、やはり何でやったとかという経過も、もちろん書いてもらう形にはなるかなというふうには思います。あと、当日どういう発言があって、どういうことをやったとか、今後それをどう生かしていくとか、そういうことを少しまとめていただく形になるかなとは思っています。

例えば、8月15日の発行までに総務で2回、文教で1回、計3回ありますので、もしあれでしたら、例えば、半ページずつということで、総務で実質1ページ、文教で1回で半ページというふうになると、この18、19に提言書のその後2ページ持っていくとすると、16、17ページで市民会議、そのうちの半ページで、例えば、分かりませんが、原発なり視察なり、名波委員からご提案がありましたシンポジウムですか、という形で載せるという方法もなくはないかなとは思いますが、すけれども。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺、どうでしょうか。皆さんのほうからご意見は。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ないようでしたら、今のあれでいくと、市民会議のほうを16、17の半ページを使って、あと特集記事を半分使って、18、19を提言書に使うというようなことになりますけど、よろしいですか。何か。いいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、そのような形で今回、67号については記事のほうを埋めていきたいと思います。

よろしいですか。事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

あと補正予算、何の記事を載せるか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、先日、送っていただいた部分で6件の記事を選んでいただいていると思いますので、集計だけ、集計というか、とっていききたいと思いますので、少し挙手をお願いいたします。

議案第36号の第3号、2-1-8、石綿含有建材事前調査料について。一人。

3-1-3の石綿、これも一緒か、事前調査料について。絹村委員、一人。

7-4-1、マリンスポーツ大会等支援事業費。一人。

8-6-1、緊急輸送ルート等沿道建築物耐震化。ゼロ。

10-5-3、将棋タイトル戦について。二人。

議案第38号、一般会計補正予算の第4号について、2-1-8のトイレ改修工事。二人。

3-2-4の石綿。二人。

3-2-4の移設改修のほう。6人。

6-1-3のオーガニック。3人。

7-1-2、商工振興費。3人。ありがとうございます。

10-5-3、実施設計。

10-5-3の施設用備品。

特別会計のほうで、8-1-5の保険給付費。3人。

決まりですか。3-2-4と、次が10-5-3で、10-5-3が2件で、あと3票のオーガニックと商工振興費と、あと保険給付、この6件で。

3-2-4、移設改修費がこの6票で、これが一番です。2番目が、10-5-3の実施設計業務が5人。10-5-3の施設用備品購入費が4人で、これが3番目で、あとオーガニックと、その下の商工振興費と保険給付が3票ずつで3件、これで上位6件が決まったと思うんですが。

事務局、お願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

一応、今、2ページ確保しているものですから、そうすると大体9件から10件載るので、例えば2票入っているものが議案第36号の第3号のほうの10-5-3、将棋タイトル戦開催実行委員会委託料、それと第4号のほうの2-1-8、トイレ改修工事、3-2-4、石綿のほうの調査料、これが2票入っているのがあって、これで3件あるものですから、これで6足す3の9件ということで、一応ちょっと9件確保させておいていただいて、今後の掲載のページによっては、ここからちょっと多少減らしたりということを見せていただければというふうに思いますけれども。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

分かりました。それでは、一応、今2件あった将棋タイトル戦とトイレと石綿、この2件の上があった分に関しても、一応採用するという形で記事をつくっておくという形にしたいと思います。

あとは、この記事のあれも誰がつくるか、その辺も。それでは担当を決めたいと思います。

それでは、先に2件のほうを外させていただいて、3-2-4から、6件あった分で、これは石山委員、いいですか。オーガニックが、名波委員、お願いします。商工振興費を副委員長、お願いします。設備費のほうを、私が担当して、施設、これを加藤委員、お願いします。10-5-3、施設用備品、お願いします。

特別会計のほうの8-1-5、これを絹村委員、お願いします。この2件のほうで、将棋タイトルを、それでは私が担当して、トイレ改修を石山委員、お願いします。石綿、これを名波委員、お願いします。では第38号のほう、3-2-4。

以上9件になりますが、よろしいですか。

ほかは、事務局のほうから何かあったらお願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。ではまた、今の補正予算の関係については、会議録が来次第、また皆さんに送らせていただきますので、また記事の執筆のほうをお願いしたいというふうに思います。

それと、特集記事なんですけど、まず市民会議につきましては、これから今日、文教があるものですからあれなんですけれども、ちょっと総務の関係等も含めて、ここは議員さんのお気持ちを書いてもらったほうがいいかなと思うので、これは今日決めていただかなくても、また次回の広報委員会でも結構ですけれども、どなたが記事を書かれるかというのを少しご検討いただければ

というふうに思います。

それと提言書のその後につきましては、次回の委員会でもしあれでしたら、この前の常任委員会協議会で出た資料を少し出させていただきますので、どの提言を載せたほうがいいんじゃないかということを協議いただいたほうがよろしいのかなというふうに思います。なので、そんな形でよろしければ、今後、そんな形で決めていただければというふうにと思いますが、もし事務局でということであれば、こちらで検討しますけれども、その辺を少し、ご検討いただければと思います。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

本日、総務のほうで市民会議の取りまとめをする予定で、この後、入っていますので、3人で決めていければと思いますので、お願いいたします。

3 その他

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ほかは、皆さんのほうから。

石山委員。

○（石山和生君）

今、担当を振ったものの締切はいつですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

会議録がいつ来るか分からないものですから、また送るときに期限をつけてお願いさせていただきます。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

編集後記については、加藤委員、お願いします。

あとは、ほかは何かありますでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ないようでしたら、議会広報特別委員会のほうを締めたいと思います。ご苦労さまでした。

〔午前 10時20分 閉会〕